



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 セグエグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3968 URL <https://segue-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 愛須 康之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 福田 泰福

TEL 03-6228-3822

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	6,649	16.6	388	15.1	387	10.3	310	27.3
29年12月期第3四半期	5,701	13.8	337	161.0	351	147.6	244	156.3

(注)包括利益 30年12月期第3四半期 112百万円 (54.0%) 29年12月期第3四半期 244百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	54.67	53.09
29年12月期第3四半期	43.84	41.71

(注)当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	5,449	2,442	44.8
29年12月期	5,154	2,320	40.3

(参考)自己資本 30年12月期第3四半期 2,442百万円 29年12月期 2,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		0.00	0.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,436	8.3	458	19.9	459	4.9	362	13.5	63.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規1社(社名)ファルコンシステムコンサルティング株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	5,702,000 株	29年12月期	5,668,800 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	41 株	29年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	5,685,148 株	29年12月期3Q	5,568,400 株

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業の業績、雇用情勢共に改善傾向が続き、緩やかな回復基調にあります。世界の経済も、米国の政策動向や地政学的リスクなどは残るものの、回復基調が続いております。

当社のグループの属するIT業界におきましては、AIやIoTなどの新しい技術、それらも利活用したデジタルトランスフォーメーションや働き方改革などへの注目度は高まっており、IT全体に対する投資意欲は継続しております。セキュリティ対策につきましては、多様化・複雑化するサイバー攻撃などの外部脅威対策はもとより、平成29年11月の「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」の改訂や平成30年5月の欧州の「一般データ保護規則」の施行も受け、異常を検知するためのアクセス管理や脆弱性管理などの内部脅威対策への投資の重要度が高まるものと予想されます。

このような環境の中、当社グループは、積極的な営業活動により、製品及びサービス並びにこれらを組み合わせたソリューションの販売が前年に引き続き拡大いたしました。大型案件も獲得し、保守サービスの販売も安定した増加を続けております。一方、積極的な採用及び新たな教育の導入により人件費が増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におけるソリューションプロダクト事業の売上高は3,521,222千円と前年同四半期と比べ554,533千円(18.7%)の増収、ソリューションサービス事業の売上高は3,128,411千円と前年同四半期と比べ393,977千円(14.4%)の増収、連結売上高は6,649,633千円と前年同四半期と比べ948,510千円(16.6%)の増収となりました。

利益につきましては、営業利益は388,251千円と前年同四半期と比べ51,036千円(15.1%)の増益、経常利益は387,181千円となり前年同四半期と比べ36,103千円(10.3%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は310,803千円と前年同四半期と比べ66,662千円(27.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,449,964千円となり、前連結会計年度末に比べて295,942千円の増加となりました。流動資産は4,445,965千円となり、前連結会計年度末に比べて367,009千円の増加となりました。固定資産は1,003,998千円となり、前連結会計年度末に比べて71,066千円の減少となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金の増加等によるものであります。固定資産減少の主な要因は、投資有価証券の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は3,007,144千円となり、前連結会計年度末に比べて173,846千円の増加となりました。流動負債は2,775,273千円となり、前連結会計年度末に比べて254,996千円の増加となりました。固定負債は231,870千円となり、前連結会計年度末に比べて81,149千円の減少となりました。

流動負債増加の主な要因は、買掛金及び前受金の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、長期繰延税金負債の減少等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,442,820千円となり、前連結会計年度末に比べて122,096千円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成30年2月13日公表の業績予想から変更はございません。今後、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、株式会社 i B r i d g e が、会社分割により設立したファルコンシステムコンサルティング株式会社の全株式を取得し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,469,381	1,895,650
受取手形及び売掛金	1,102,032	1,003,837
電子記録債権	14,416	22,790
有価証券	99,990	—
たな卸資産	768,834	538,809
前渡金	317,612	438,944
未収入金	225,939	426,688
繰延税金資産	22,605	36,900
その他	58,286	82,433
貸倒引当金	△143	△88
流動資産合計	4,078,956	4,445,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,244	42,974
減価償却累計額	△26,138	△27,599
建物及び構築物(純額)	13,105	15,375
工具、器具及び備品	748,421	800,822
減価償却累計額	△596,381	△636,454
工具、器具及び備品(純額)	152,040	164,367
土地	639	639
リース資産	5,170	—
減価償却累計額	△5,117	—
リース資産(純額)	52	—
有形固定資産合計	165,838	180,382
無形固定資産		
のれん	6,700	65,280
ソフトウェア仮勘定	—	100,776
その他	27,917	14,708
無形固定資産合計	34,618	180,765
投資その他の資産		
投資有価証券	705,105	448,327
長期差入保証金	77,118	76,093
繰延税金資産	10,429	38,297
保険積立金	64,924	63,733
その他	17,031	17,737
貸倒引当金	—	△1,339
投資その他の資産合計	874,608	642,849
固定資産合計	1,075,065	1,003,998
資産合計	5,154,021	5,449,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	856,368	883,376
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	38,732	—
リース債務	55	—
未払金	103,942	68,797
未払費用	128,417	133,326
未払法人税等	105,958	104,732
未払消費税等	64,249	40,062
賞与引当金	—	59,036
前受金	1,110,251	1,444,574
その他	92,302	41,367
流動負債合計	2,520,277	2,775,273
固定負債		
繰延税金負債	114,549	22,557
退職給付に係る負債	131,873	142,714
長期未払金	66,598	66,598
固定負債合計	313,020	231,870
負債合計	2,833,298	3,007,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	498,306	503,174
資本剰余金	270,806	275,674
利益剰余金	1,142,981	1,453,785
自己株式	—	△79
株主資本合計	1,912,094	2,232,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421,293	211,713
繰延ヘッジ損益	△12,663	△1,447
その他の包括利益累計額合計	408,629	210,265
純資産合計	2,320,723	2,442,820
負債純資産合計	5,154,021	5,449,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	5,701,122	6,649,633
売上原価	4,264,519	5,025,960
売上総利益	1,436,603	1,623,672
販売費及び一般管理費	1,099,388	1,235,421
営業利益	337,214	388,251
営業外収益		
受取利息及び配当金	179	254
為替差益	2,004	—
保険解約返戻金	6,205	14,540
その他	7,558	2,517
営業外収益合計	15,947	17,311
営業外費用		
支払利息	1,443	152
為替差損	—	17,765
その他	641	463
営業外費用合計	2,084	18,381
経常利益	351,077	387,181
特別利益		
投資有価証券売却益	—	69,583
特別利益合計	—	69,583
税金等調整前四半期純利益	351,077	456,765
法人税、住民税及び事業税	112,200	164,116
法人税等調整額	△5,263	△18,154
法人税等合計	106,937	145,962
四半期純利益	244,140	310,803
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,140	310,803

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	244,140	310,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	969	△209,579
繰延ヘッジ損益	△554	11,215
その他の包括利益合計	415	△198,363
四半期包括利益	244,555	112,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,555	112,439
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ITソリューション事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。